

KOMEI たばた智子通信 2023年4月号 ZUSHI

発行者 田幡智子 逗子市沼間3-14-6



逗子市議会
令和5年
第1回
定例会から

田幡智子が取り組みました

防災工事助成金が 使いやすくなり 安心安全が前進

逗子市では民有地のかけ崩れや立木の倒壊、水害などを防ぐため、工事費や木竹の伐採費用の一部を助成しています。令和5年度予算から業者による工事費の他に、立木など所有者が伐採した場合にかかる処分費用が対象になります。大きな台風災害などが予想される中、危険木などの所有者が管理しやすい制度に変わりました。



逗子カーボンニュートラル2050 に向けた事業

田幡智子は、夏の猛暑対策として市が管理する施設への遮熱対策は、効果的・効率的な温暖化対策にもなることから、夏休みに稼働している保育園やふれあいスクール（ふれスク）で使われている小学校の部屋への遮熱対策の実施を訴えました。令和5年度の予算に小坪保育園のサンルームガラスと小学校のふれスクで使用する部屋の窓ガラスに遮熱シートを貼る予算が計上されました。また、沼間小学校内のプール跡地に

できる学童保育、親子遊びの場の建設計画には、太陽光発電システムと蓄電池の導入が計画されています。



学童保育所に変わる沼間小学校のプール

逗子市議会議員

たばた智子



公明党逗葉支部
支部長

総務常任委員会委員
議会運営委員会副委員長
都市計画審議会委員

HP:<https://www.komei.or.jp/km/zushi-tomoko-tabata/>
Mail:tabatomo.victory2014@gmail.com

令和5年度一般会計予算が成立

令和5年第1回定例会が開催され、令和5年度予算審議が行われました。平成29年の緊急財政対策から5年が過ぎ、市民の皆様のご協力をいただきながら、市の財政は安定してまいりました。これからも市民の皆様の安全・安心のため、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりのために全力で取り組んでまいります。

森林の維持管理に 助成金制度創設 — 安全で美しい 緑の環境へ

防災工事に至らないまでも森林の維持管理は、将来にわたり良好な緑地の保全につながります。このほど所有者が緑地や保存樹木を将来にわたり良好に保存するための助成金制度が創設されました。作業をする事業者に支払う経費の1/2（上限100万円）が支払われます。所有者だけでなく、ボランティアで管理をしている地域の方が増えていることから所有者の許可を得て伐採などを行った処分費用も対象になります。安全で美しい緑の環境を守る制度が始まりました。



届出に分かりやすい ハンドブックが出来ました！

田幡智子は戸籍の届出などの市民サービスの充実、簡素化を要望していました。現在、住民票の写し・印鑑登録証明書をスマートフォン等で請求できるスマート申請が始まりました。さらに広告料を利用して、婚姻届と死亡届の手続きを分かりやすく示したハンドブックが作成され、配布されるようになりました。



おくやみハンドブック



婚姻手続き早わかりBOOK

令和5年度 予算で実現！

サニタリーボックスが
市役所内の男女トイレに
設置されます

公明党市議団は、病気や加齢により尿漏れパッドや紙おむつを利用されている方が安心して外出できるように、男性用トイレへのサニタリーボックス設置を要望していました。本年1月に長時間の利用が多い図書館の男子トイレにボックスの設置が実現、また女性トイレにも大きめのボックスが設置されました。

令和5年度予算では市庁舎内の男性トイレにもサニタリーボックスが設置されることになりました。公明党市議団は市民の理解と啓発を図り、安心社会の構築に向け、さらに推進してまいります。



逗子市立図書館
男子トイレ



設置されたサニタリーボックス

いくつになっても元気で安心なまちへ

○ふれあいバス購入助成

70歳以上の方が京浜急行バスで販売している「ふれあいバス」を購入する際、市民税非課税の方には一回につき3000円が補助されます。また、免許の自主返納した方は、課税、非課税にかかわらず1回限りで6000円の補助があります。公明党市議団は高齢者の外出支援や移動支援の充実を目指します。



○補聴器購入助成創設

身体障害者手帳の交付対象にはならなくても聞こえが悪くなった高齢者が補聴器を購入する際には、購入費用の一部が助成されます。65歳以上の市民税非課税の方で耳鼻咽喉科の医師により補聴器の必要性を認められた方が対象になります。

18歳までの 小児医療費 完全無料化



©KOMEITO

令和5年4月1日から小児医療費助成制度の所得制限をなくし、さらに現在、中学3年生までであった助成の対象が18歳に達する日以降の最初の3月31日まで引き上げられました。

出産子育て応援
子どもも親も充実した
逗子ライフを！

出産子育て 応援給付金



妊娠期から出産子育てまで一貫して身近で相談に応じる保健師などによる伴走型相談支援が行われます。さらに、妊娠の届出及び面談等を行った妊婦に現金1万円を、出生の届出及び面談等を行った養育者に現金5万円が支給されます。

学校教育の 充実のために 教職員を配置

児童生徒が元気に学校に通える環境をつくるために、特別支援補助教員の増員や少人数指導を行うための教員の配置、通級指導教室の巡回教員、ICT指導員の派遣など教育関係

の人員が充実されます。公明党市議団は不登校やいじめ、学びにくさを持った子どもたちに寄り添える環境を目指します。

この帶状疱疹の発症予防にはワクチンが有効とされていますが、費用が高額になることから接種をあきらめる高齢者も少なくありません。公明党市議団の提案で、帶状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める意見書を国に提出しました。

带状疱疹ワクチン助成・定期接種化を求める意見書

市民から意見書提出の陳情があり、不登校児童生徒は、フリースクール等の民間施設を利用する利用料や交通費など経済的な負担が多いとありました。逗子市議会は、教育機会確保法が成立しましたが、その支援がなされていないとして国などに対し「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的な支援制度の確立を求める意見書」を提出しました。

不登校児童生徒への支援制度の確立を求める意見書

逗子市議会から
意見書を
提出しました